

堂々のプレーで2位



全日本学生フェンシング王座決定戦(エペ) 6月2日、京都府・大山崎町体育館

学生王座決定戦男子エペには、関東学生リーグ戦(5月8〜16日)で2位の専大、リーグ戦優勝の早大と関西から朝日大、立命館大が出場。専大は初戦で関西学生リーグ戦を全勝で制した西の王者・朝日大に45-38で勝利。決勝で早大に25-45で敗れたものの、堂々エペチームの3人。左から上村、齊藤、菊池

優勝できるような日々、練習に励みたい」と決意を語った。

齊藤は「一回戦は緊張で危ない試合運びをしてしまい、いいリズムで決勝に臨めなかった。一人一人がチームに貢献できるように練習し、レベルアップする必要がある」と話した。

1年次生ながら出場メンバーに選ばれた菊池は「一番手として出場した決勝は、ポイントを取えず、悪い流れを作ってしまった。いい経験ができたのと同時に課題も見つかった。自分の攻撃力に磨きかけた」と決意を語った。

(白鳥順也・経済3)

齊藤、成田2位

東京都フェンシング選手権シニアエペ個人 5月12〜18日、世田谷区・大蔵第二運動場体育館

男子選手権で齊藤憲司が、女子選手権で成田琉夏(文1・聖霊女子短大付属高)が準優勝した。着実に力をつけている齊藤は「フットワークを意識するようになり、相



賞状を手に笑顔の成田

手との距離の詰め方が良くなった」と話した。初のシニア大会で結果を残した成田は「苦しい場面でも冷静にポイントを奪うことができた。これを確立したい」と語った。(白鳥)

2季連続優勝

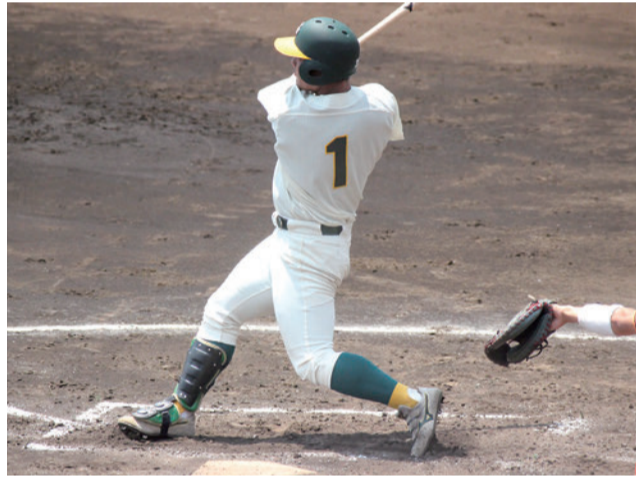
1部復帰へ駒大と対決

東都大学野球春季リーグ戦(2部) 6月6日まで、埼玉県・上尾市民球場

リーグ戦の全日程が終了し、専大は9勝5敗の勝ち点4で2季連続となる2部優勝。6月17、18日に神宮球場で行われる駒大との1部、2部入れ替え戦に挑む。

個人では、6勝を挙げたエースの佐藤真真(経営3・関東第一高)が最優秀投手、最優秀防御率に選ばれた。

優勝を懸けた6月6日、拓大との第3戦。試



優勝を手繰り寄せた平湯主将の一振り=6月6日

合を決定づけたのは平湯蒼藍主将(経済4・海星タンド)に運ぶ。同点に追いつかれた4回、2死一

男子が準優勝



リーグ戦準優勝の男子チーム

関東学生アーチェリーリーグ戦優勝決定戦 5月12日、東京都・帝京大学洋弓場

男子がリーグ戦準優勝を成し遂げた。3月から行われていた関東学生リーグ戦はBブロックに所属し、5戦全

勝で10回目のブロック優勝。リーグ戦優勝決定戦はAブロック優勝の強豪・日体大と対戦となった。吉田和希(経済3・千葉黎明高)の63.6点を筆頭に4人が60.0点超えをマークしたが、368.7-391.0の22.3点差で敗れた。

生方大河主将(経済4・高崎商科大附属高)は、「部員一人一人が高い意識を持って戦った結果がブロック全勝優勝につながった。しかし、優勝決定戦で敗れ、関東2位となったことは悔しい」と話した。

リーグ戦Bブロック優勝で3年ぶりの全日本学生王座決定戦(6月、静岡県掛川市・つま恋リゾート)出場が決定。女子はリーグ戦Bブロックで1勝4敗の5位。1、2部入れ替え戦に敗れ、2部降格となった。(高田康平・経営3)

中西意地の3位

全日本学生アーチェリー東日本大会 5月25〜26日、北海道・キロロリゾート

中西菜津子(文3・大宮開成高)が昨年1位の意地を見せ、3位となった。

70×72射を2日間かけて行い、総合得点を競う今大会。初日は、会場の特徴である強い風をうまく読むことができず、58.7点の7位と悔いの残る結果となった。「初日の結果で心が折れそうになった。しかし、2日は段々と会場の風に対応できるようになり、リズムが自分の中にできていく感覚があった」と語るように、2日目は得点を伸ばした。60.5点の高得点で巻き返し、合計119.2点をマークした。

中西は、「強い風だけでなく、北海道とは思えない暑さの中のプレーとなり、制限時間の中でいかに風を読み、ミスを抑えたい」と話した。

中西は、「強い風だけでなく、北海道とは思えない暑さの中のプレーとなり、制限時間の中でいかに風を読み、ミスを抑えたい」と話した。

(高田)

近藤が連覇

関東学生馬術選手権 女子選手権 5月10〜12日、静岡県・御殿場市馬術・スポーツセンター

近藤舞宝(経済3・学法律田学園高)が昨年に続き女子選手権で優勝し、連覇を果たした。「連覇は目標だった。勝たなければいけないというプレッシャーがあったが、今はホッとしている」と喜びを表した。

今大会は毎回乗る馬が変わり、専大所有馬だけでなく、他大学の馬とも呼吸を合わせなくてはならない。「昨年よりも各馬に合った騎乗ができた」と振り返るように、18位



巧みな騎乗で障害を飛び越える近藤

麻生総合高)が女子選手権4位、西野翔(商4・水戸農高)が選手権8位。4年次生が意地を見せ、近藤を含む3人が11月の全日本学生選手権・女子選手権の出場権を得た。井佐は「一回戦で思うような走行ができなかったことが反省点。2回戦

ONE DAY TEAMMATE 2019申し込み受け付け中

体育会の地域貢献活動として開催するスポーツ教室。今年度は20種目24教室を実施。参加費は無料。詳細や申し込み方法は大学ホームページ、またはFacebook「専修大学One Day Teammate」でご確認ください。

園体育事務課 ☎044・911・1273
E-mail: 1dayteam@acc.senshu-u.ac.jp

専大スポーツ

【専大スポーツ】 <https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>
【専大スポーツ編集Web】 <https://sensuppo.com/>

No. 397